

2021. 6. 7

令和3年笛吹市議会第2回定例会の告示に伴う記者会見質疑応答（要約）

■記者

条例案中の笛吹市多目的芝生グラウンド整備基本計画検討委員会について、もう少し詳しく伺います。また、この計画の進捗状況を伺います。

■政策課長

これから検討委員会を立ち上げて今から検討していく段階です。

■記者

検討委員会のメンバーはどのようなメンバーで構成されますか。

■政策課長

今のところ、区長会やスポーツ関係団体、グラウンド整備に必要な専門知識を持っている方や学識経験者として大学教授などを想定しています。

■記者

現地調査をするためのコンサルなどの委託業務を予定され、予算計上されたと思うが、これについて進捗はありますか。

■政策課長

今、プロポーザルの募集をしており、今月の終わりには業者を決定し契約をして進めていくという状況です。

■記者

プロポーザルはどのように告知しましたか。

■政策課長

市のホームページで告知しました。

■記者

ホームページのトップページに掲載されたのですか。

■政策課長

はいそうです。

■記者

商工費の中にあるプロジェクションマッピング事業について、具体的な詳しい内容を教えてください。

■財政課長

さくら温泉通りで例年開催していたイルミネーションの代わりに、みんなの広場及びさくら温泉通りでプロジェクションマッピングを行う予定です。
経費の主なものは、プロジェクションマッピングの設置運営の委託料です。

■記者

プロジェクトマッピングを実際に開始する時期等が決まっていれば教えてください。

■総合政策部長

実施期間は、11月下旬にみんなの広場のオープニングイベントを予定しています。その中で、11月下旬から12月末までの1ヵ月位を予定しています。

■記者

新道峠展望台デッキのオープンの日は決まりましたか。

■市長

オープニングセレモニーは7月27日で、一般のオープンは7月31日です。ぜひ取材に来てください。

■記者

農林水産業費の産地パワーアップ事業について中身を具体的に教えてください。

■財政課長

産地パワーアップ事業は、果実の高収益化に向けた施設整備等を支援する事業で、県の事業です。本市では、産地パワーアップ計画を策定、農業者の説明会を実施し、5名の事業実施が確定したので、今回この補助金を計上しました。具体的には、主にぶどうの加温ハウスやトンネルメッシュといった設備のための経費の補助金です。

■記者

毎年補正ですか。

■総合政策部長

県の補助決定がこの時期になり、当初ではわからないために6月補正での対応となります。

■記者

新型コロナウイルス感染症予防接種事業費を減額しているというのは、何かやろうとしていたものが執行できなかったということですか。

■財政課長

新型コロナウイルスの感染症予防接種事業については、令和3年度の当初予算に計上して計画していたが、急遽執行時期の前倒し等があったので令和2年度の補正予算に計上して対応しました。そのため、令和3年度当初予算に計上した分は全額不用額となり、新たに発生した必要経費との差額の2億3252万円が今回減額補正となりました。

■記者

これは、どういう事業ですか。

■財政課長

65歳以上の高齢者のワクチン接種のための経費です。

■記者

ということは、65歳以上のワクチン接種が思ったよりも遅れたということですか。

■総合政策部長

当初予算で市民全員分を計上しました。国の状況が明らかになり 2 月からは医療従事者にも接種が始まったので、当市でも前倒しをして 2 月の補正に新型コロナウイルス感染症予防ワクチンの接種費用を計上しました。

■記者

ワクチン接種に関連して、65 歳未満者へのワクチン接種とあるが、接種券の発送等を見込んでいるのか、スケジュール等を教えてください。

■保健福祉部長

65 歳未満の方の接種については検討中です。国が示すように 65 歳以上の高齢者の接種を 7 月末までに終了することを中心に実施しています。当初は 8 月中を目途に計画していたが、1 ヶ月前倒しになったので集団接種及び個別接種の回数を増やした経費も今回計上している。次に控えている基礎疾患を持つ方の計画を考えながら、65 歳未満の方の接種についての計画もしてきます。

■記者

新型コロナで工業団地に申請を予定していた企業については残念だったと思うが。

■市長

基本的には市では毎日受付をしている。マスクが取れないと難しいと思っているが、焦らずに施設整備等の準備はしておく。

■市長

ともにごんぱろう笛吹 PayPay キャンペーンが大変順調である。キャンペーン参加店舗は約 600 軒になる。予想を上回る反響である。

以上